

東成区社会福祉協議会では、東成区役所の委託を受けて「おまもりネット事業」を活用したセーフティネット構築事業を実施しています。

PROGRAM① ■ おまもりネット事業 ■

知っところ☆持っところ☆備えところ☆おまもりネット

手帳やカードを所持し情報を伝えやすくすることと合わせて、この事業の推進をととして、普段の地域とのつながり・支え合いを強めていくことをめざしています。また、いざというときのお守りとしても「おまもりネット事業」は安心をサポートする事業です。

知っところ 「地域のみなさまへ」 「おまもりネット事業」は校下社会福祉協議会が実施している活動です。「誰もが住み慣れたまちで安心してらせる」ことを目指し、希望された方に「おまもりネット手帳」「おまもりネットカード」を無料で発行しています。

持っところ 「高齢者・障がい者の方へ」 「おまもりネット手帳」には本人のさまざまな情報が書いてあるので、自分では説明しにくい情報を伝えることができます。「おまもりネットカード」には、緊急連絡先等が書いてあるので、いざという時に、本人・手助けしてくれた方の両方に役立ちます。 ※障がい者用おまもりネット手帳は、10月ごろ完成予定です。

備えところ 「活用しましょう!おまもりネット」 「おまもりネット事業」を活用することで、まわりの方に普段のくらしぶりを伝えることができます。それにより、地域福祉活動と福祉サービスをつなぎ、地域で安心してくらし続けることができます。

☆地域福祉活動サポーターを小学校下ごとに配置し、おまもりネット事業の推進や、その他さまざまな地域福祉活動の実施を支援しています。

お問合せ・申込先 ※各地域の地域福祉活動サポーターにご連絡ください。

Table with 4 columns: 名称, 住所, 電話. Lists contact information for various neighborhood welfare centers across the district.

PROGRAM② ■ 食事サービス活動 ■

東成区内10校下の社会福祉協議会で高齢者食事サービス事業が実施されています。一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の方を対象とし、住み慣れた地域で孤立することなく、地域住民と交流をもちながら地域での生活を健康的に継続していけるように取り組まれています。この活動は、利用者からの利用料と、委託料をもとに実施されています。



Table showing activity reports for the elderly meal service, including columns for location, activity content, number of participants, meals served, and total income/expenditure.

PROGRAM③ ■ ふれあい喫茶活動 ■

区内11校下、15会場でボランティアさんが中心となり、住民が互いにふれあえる場をつくる目的で実施されています。地域に所在する介護保険施設を利用する方が参加されていたり、障がい者施設の手作りおやつなどをコーヒー・紅茶等と共に提供するなど、地域と施設とのつながりづくりになっています。もちろん、ふれあいを目的としてなら、どなたでも参加していただけます。

Table listing the schedule for the 'Fureai Ichi' cafe activities, including location, date, time, and venue.



こんなとき、おまもりネット手帳やカードがあれば便利です。

Illustrated scenarios showing how the 'Omamori Net' handbook and card are useful in various situations like forgetting information, needing emergency contacts, or needing to travel.

●事業利用上のご注意 この事業で利用される「おまもりネット手帳」「おまもりネットカード」には、皆様の大切な個人情報、掲載されています。この個人情報悪用されないよう、その管理や外出時の携帯については、十分に注意してください。

誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりを推進します

去る、3月25日と5月29日の理事会・評議員会において、それぞれ平成25年度予算・事業計画並びに平成24年度決算・事業報告が審議され、承認されました。より多くの区民、ボランティア、市民活動者、福祉専門職、区役所、地域活動協議会等の区内の団体と協働して、東成区の福祉課題の解決に向けて取り組んでいきます。

平成24年度 決算 収入の部 (經常活動による収入) Table with columns for 勘定科目, 決算額, 備考. Lists various income sources like membership fees, grants, and interest.

支出の部 (經常活動による支出) Table with columns for 勘定科目, 決算額, 備考. Lists various expenses like management fees, grants, and staff costs.

(施設整備等による支出) Table with columns for 勘定科目, 決算額. Lists expenses for facility improvements like equipment and software.

(財務活動による支出) Table with columns for 勘定科目, 決算額. Lists financial activities like fixed asset acquisition and depreciation.

当期資金収支差額計 Table with columns for 項目, 金額. Shows the net change in funds for the period.

Advertisement for 'Osaka Chubu Onsen Network' (東成会) featuring a 'Goodwill Bank' (善意銀行) for donations and a list of services like car loans and facility management.

平成25年度 予算

平成25年度 予算 収入の部 (經常活動による収入) Table with columns for 勘定科目, 予算額. Lists the budgeted income for the next fiscal year.

支出の部 (經常活動による支出) Table with columns for 勘定科目, 予算額. Lists the budgeted expenses for the next fiscal year.

(施設整備等による支出) Table with columns for 勘定科目, 予算額. Lists the budgeted expenses for facility improvements.

(財務活動による支出) Table with columns for 勘定科目, 予算額. Lists the budgeted financial activities.

当期資金収支差額合計 Table with columns for 項目, 金額. Shows the net change in funds for the period.

車いすの短期貸し出しをしています

高齢者や障がいのある方、病気やケガのため一時的に歩行が困難な方を対象に車いすの短期貸し出し事業をしています。貸し出し期間は原則として1か月以内です。

布団丸洗い乾燥サービス事業(第2回目)のお知らせ

東成区社会福祉協議会協議会では、日頃から布団の衛生管理が難しい高齢者世帯、障がい者世帯の方を対象に、生活環境の向上を目的に布団丸洗い乾燥サービス事業を実施しています。

- ご利用対象 (1) 加齢その他の事由により布団の衛生管理が困難な65歳以上の高齢者で、介護保険の介護度が要支援(1・2)及び要介護(1～5)の方のうち、「ひとり暮らしの方」及び「高齢者のみの世帯等に属する方」 (2) 寝具の清潔保持が困難な重度障がい者世帯(障害者手帳1・2級の方)
申込期間 平成25年10月1日(火)～10月12日(土)必着
実施期間 平成25年12月2日(月)～12月14日(土)予定
自己負担額 布団1枚600円 毛布1枚200円
利用枚数 お一人につき、3枚まで。(布団は最大2枚まで・原則として、利用者が現在使用中のものに限る)
申込み先 お住まいの校下社会福祉協議会協議会役員、町会長、民生委員、地域福祉活動サポーターへお申込みください。

座談会 いわゆるごみ屋敷に住む要援助者への支援について ～くらしリセット検討会議をとおしてみえてくること～

東成区では、さまざまな理由でごみを片付けることができず、また収集してしまうことで、居室内にごみであふれてしまう高齢者や障がい者など、援助を必要としている方がいます。このような方の支援に向けた流れが東成区地域支援調整チームにおいて検討されました。そして、平成23年3月に東成区役所内に「くらしリセット検討会議」が設置され、チームによる支援の仕組みが作られました。この支援の目的は、ごみを片付けることから始め、地域の人とのつながりを取り戻しながら、ご本人が望む暮らしに向け支援していくことにあります。今回は、いわゆるごみ屋敷に住む方への支援に関わっておられる方にお集まりいただき、それぞれの支援活動の経験をお話していただきました。そしてその経験をもとに考えられる東成区の地域福祉の方向性について語っていただきました。

座談会参加者



在町 今日は、いわゆるごみ屋敷に住む方への支援から、東成区における今後の地域福祉を考えていくというテーマでお集まりいただきました。これまで支援してきたことを振り返りつつ、それぞれの支援の大切さを一緒に考えていきたいと思っています。早速ですが、永重さんは民生委員長と地域住民でもあるという立ち位置で、地域の方だけで支援をしたことがあるそうですね。

それぞれに理由がある

永重 東中本で民生委員長をしている永重です。ごみを選別しないで出していたので回収してもらえず、それが溜まって居宅にごみがあふれてしまったケースに対応することがあります。私が車を出して、担当民生委員の経営するマンションのストックヤードまで、運び出したことがあります。

在町 では、専門職が中心に支援をした事例はありますか。

殿井 東成区社会福祉協議会地域生活支援ワーカーの殿井です。3月までは地域包括支援センター職員をしていました。近隣の方から匂いがひどいと区役所に相談があり、東陽地域総合相談窓口と一緒に支援しました。親族さんとお会いしてご本人の家の状況を確認させてもらおうと、ごみがあふれ、トイレが壊れて使えなくて匂いがひどくなっていました。年齢とともに体の調子も悪くなり、周りの方とのコミュニケーションがうまく取れない障害があり、誰にも相談できずじまいでした。片づけをはじめると大掃除になり、ご本人も前向きに片づけてくれました。ごみの回収はサンローズオオサカさんに協力してもらうことができました。ご本人はその後、介護保険の申請をしてサービスを使って入浴するようになり、表情が明るくなりました。

金中 東陽地域総合相談窓口で相談員をしている金中です。私もその支援に関わっていました。身体的な障害も背景にあって、自分が困っている状況を相談できる場所がなく、本人もつらかったらどう感じます。地域の方にその方の存在を知ってもらう必要があると思い、一緒にふれあい喫茶など地域の活動に参加させてもらっています。障害があることで周りへ気をつかい地域とのつながりを持てていなかったようで、ひとまとめにごみ屋敷というのではなく、その人なりの理由があるのだと思います。

上田 東成区北部地域包括支援センターで管理者をしている上田です。ごみを出したくて出せない場合もあれば、本人がごみだと思わずに集めてくる場合もあります。その場合、本人は困っていないので自分からSOSの意思表示をすることがあまりありません。

在町 ごみを片付けられない理由や、抱えている背景を保健師の立ち位置からは、どのように見えていますか。

伊野 保健福祉センターで保健師の係長をしている伊野です。悪臭がしたり害虫がわいていても、それがよくないと認識をもてないのは病気や障害による場合も多いと思われます。医療につなげる必要がある場合は関係づくりを図りながらすすめます。一度片づけても、再び悪い環境にならないようにするのが難しい点です。

在町 ご本人への関わりの難しさや、片づけた後にその方にとっての地域での生活が課題ですね。それでは、くらしリセット検討会議が出来てからの支援の経験をお話していただけますか。

地域でのつながりを取り戻す

塩田 宝栄地域福祉活動サポーターの塩田です。ご本人から区役所の方に片づけてほしいと相談があったことがきっかけで、くらしリセット検討会議を開くことになりました。ご本人の前向きな気持ちで始まったものの、片づけたくない気持ちも見え隠れして、周りの者が本人のやる気を奮い立たせながら進みました。これだけは捨てたくないという本人の気持ちと周囲の捨ててはいけないという気持ちが折り合わ

ず、途中で終わってしまいましたが、その後チームでローテーションを組んで訪問するたびにご本人は前向きに掃除をされていました。

上田 片づけたことで生活スペースができて、過ごしやすくなったのを実感できたのかもしれない。

塩田 地域でのつながりを取り戻しながら、ご本人の望む暮らしにむけて支援するという点が難しいと感じます。世間話ができるまで関係づくりができたけれど、注意をすると関係が壊れてしまう心配があるので、どのように注意しているのかわかりません。いつでもきれいに保つことが望んでいる暮らしではないとも感じます。

伊野 考え方や価値観は人それぞれなので、自分の価値観を押し付けてはいけません。集めてくるのがその人の生きがいであり、気持ちの安定につながることもあるので、近隣が迷惑を受けない範囲でどこまで認めるのかバランスが難しいです。

バランスが大切

永重 周囲が気づいていない隠れごみ屋敷は、時間がたてばたほど増えていくと思います。地域の環境衛生に関することなので、行政と専門職と地域住民で力を合わせて取り組まないといいけません。

殿井 片づけることを強制するのではなく、積極的にその人に介入する仕組みが必要だと思います。本人の望む暮らしは本人が言葉に出したものと、専門職や地域の方が見た本人にとっての一番いい暮らしを総合的に組み合わせるものでないと、地域の中では暮らしていけないと思います。

上田 近隣に住んでいる方は、火事の不安も重々あるのが分かります。近隣に住んでおられる方の許容範囲と本人の望む暮らしとのバランスのとり方が支援する立場としてはとても難しいと感じます。

金中 解決には時間がかかるかと思っています。ただ、24時間365日住んでおられる近隣の方のことを思うと、そこに住んでいない自分からはなんと言って差しあげていいのかわかりません。専門職としては、折り合いをつけながら、その人がそこで暮らしていくためにはどうしたらいいかを考えます。

制度への期待

伊野 地域の方の見守りが継続してあるといいですね。行政も地域も関係機関も一緒になって支援の形が出来上がっているのが東成区の強みだと思います。去年、大阪市全体としてごみ屋敷の実態調査があり、対策案のパブリックコメントが6月中旬から実施され、その後具体になっていく予定です。

上田 行政、地域、関係機関がうまく連携できれば制度がうまく機能すると思います。

殿井 今まで東成で作られたおももりネット事業も、地域ケアネットワーク連絡会もこのくらしリセット検討会議にしても、まず個人や地域の困りごとというニーズがあって、それを解決するために専門部会や実務者会議で話をして作られてきました。

伊野 新しい制度は、一歩前へ進めるための位置づけとして機能していくのだと思います。

殿井 制度的な裏付けができれば、動きやすくなる面があります。

未然に防ぐ

金中 いわゆるごみ屋敷という呼び方は周りから見たらごみ屋敷に見えるというところを現しています。情報をもとに専門職が入ることによって背景や原因がわかると解決できるごみ屋敷があります。認知症で分別できないためにごみがたまる人の場合であれば、そこを手伝ってくれたり、適切なサービスが入ることで暮らしが取り



戻せる場合があります。そのことをみんなで共有できる場ができると、地域の方も理解していただけます。

永重 地域の見守りの過程で早く気づいてあげることも大切だと思います。

在町 事態が悪くなる前に、つながりのなかで気づけるといいですね。

金中 ちょっと気になる段階で、地域から情報をもらって専門職が動くという流れをつくるためには、まず地域と専門職の関係ができていなければならないと思います。相談してもらって、未然に防ぐというところが大切だと思います。

殿井 ごみ屋敷という言葉が悪い印象で広まってしまったと感じます。ごみ屋敷というひとくくりで、変な人、困った人と見てしまい、何らかの理由により困り事を抱えた人という見方ができなくなっています。

上田 「いわゆる」という表現は、専門職側の先入観を無くしていこうという心構えにもつながります。困った人として接するのではなく、困り事について支援していきたいというスタンスが伝わらないと信頼関係はつくれません。2、3年かけて信頼関係ができて、おまえが言うなら片づけると言ってくれたこともあります。

殿井 自分らしい暮らしを取り戻すまでには時間がかかります。片付いたとしても、その後その人がそこに住み続けるためには、専門職や地域の方の関わりを上手く継続できるものにしていかないといいけません。

上田 近隣の方で勇気づける方がいたり、フォローしてくれる方がいたり、いろいろな支援スタイルで、ご本人と関わってあげることが必要です。

在町 信頼関係を築くことや再びごみ屋敷にならないためには、長い関わりが必要だということですね。では、支援をつうじて、これから東成区がどんなまちになってほしいかをこれまでの話を踏まえながらお話していただけますか。

どんな東成になってほしいか

殿井 相談を受けとめる体制を専門職側が作っていないといけないと感じます。見守ってニーズをキャッチする人と、そのキャッチしたものを受け止めて対応と一緒に考える人が、途切れることなく円のように繋がっているまちはいいと思います。

永重 見守り活動をしていて異変に気づいたときに地域包括支援センターや区役所に相談するという流れをつくってあげれば、うまくニーズを発見できる気がします。登校時の見守り活動や、高齢者の見守り活動によって、それらの活動が困っている人にも早く気づくことにつながっています。

塩田 私は母親でもありますから、子どもたちが成長したとき東成で家庭をもちたいと思うようなまちにしたいと思っています。住みたいと思うまちが一番。

金中 地域の方が自分の地域のために動いておられることにはいつも驚いています。住み続けたいと思うまちをつくるお手伝いをするために、自分にできることは何かを問いつつ仕事をしたいと思っています。

上田 複雑な課題を抱えた高齢者が増えていて、地域包括支援センターとして支援方法に悩むケースがたくさんあります。色々な方の力を借り、視点を聞き、ヒントが見えることがあります。みなさんの力が結集できる地域になれば支援の輪が広がると感じています。

伊野 認知症の高齢者を、行きつけのお店の店主や地域の方が見守ってくださっている、温かいまちだと感じています。保健師として皆さんと一緒にこれからも支援に関わっていききたいし、みんなで関わっていける東成だと、今日あらためて確認できました。

在町 チームの力を大切に、そして住み続けたいと思う東成区になったらいいなという思いで、これからも力を合わせて、そんな東成区をみんなで作っていきましょう。今日は本当にありがとうございました。

東成区ボランティア・市民活動センター

東成区民まつり 区社協出店コーナーの ボランティアを募集します!

東成区社会福祉協議会では、毎年、区民まつりに出店し、区社協の取り組みを紹介するとともに、ボランティアの方々の協力を得て、親子で楽しめる工作を実施しています。

今年も、工作の制作補助をしていただくボランティアさんを募集します。たくさんの方の来場者とのふれあいを楽しみながら、活動にご協力いただけませんか。もちろん、当日は交代で休憩をとりますので、他の出店コーナーも回っていただけます。



昨年の様子

今年はプルタブをリサイクルした工作などをします。

日 時	平成25年8月4日(日) 15:00～17:30
場 所	東中本公園(東中本3-15)
活 動 内 容	区民まつり会場での区社協出店コーナーのお手伝い(工作コーナーでの制作補助など)
募 集 人 数	男女問わず、たくさんの方の応募をお待ちしています。
申込み・問合せ	7月24日(水)までに、東成区ボランティア・市民活動センター(☎6977-6336)までご連絡ください。
そ の 他	当日の活動の詳細や、役割分担などについては、事前説明会を開催します。

体にやさしい 手作りおそうざい モグモグキッチン

障がい者の支援をしている区内のNPO法人サラダ倶楽部 サラダぼーる(就労支援B型・生活介護)が平成25年5月13日にモグモグキッチンをオープンしました。

「毎日、日替わりのお惣菜を販売しています。保存料や着色料等は使用せず、まごころ込めて手作りしています。毎日でも手が届くお手頃価格(100円～200円)ですので、お昼ご飯に、夕食のもう1品にいかがですか?」
大今里南1-12-1ビュウティ今里一階 ☎6974-9810
営業日時/月、火、水、金曜日 11:30～15:30

